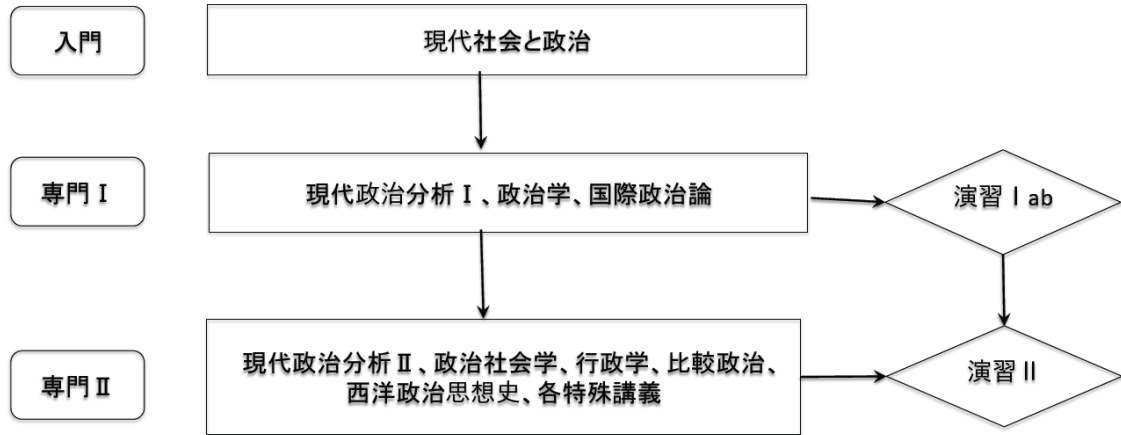


政治学の学び方



- ① 大学で政治学を学ぶことには、大きく分けて三つの目的がある。第一に、現代の様々な政治現象を分析・解明できるようになること。第二に、過去の様々な政治変動を長期的な観点から歴史的に分析・解明できるようになること。第三に、過去と現在の膨大な事実の多様性に圧倒されることなく、批判的に思考するための様々な概念装置を手に入れること。言い換えるならば、「政治の現在」を知ること、「過去」と対話すること、様々な「概念装置」によって将来への展望を自らの手で掴み取る柔軟かつ強靱な知性を涵養することである。そして、これらの目的を効率よく達成すべく、岡山大学法学部では政治学系科目を以下のように配当している。
- ② 「入門」 — まず一年次においては、高等学校の社会科で学んだことを発展させながら、大学の政治学への橋渡しを行うための入門的な科目が配当されている。「現代社会と政治」は国際政治および現代日本政治に関する初歩的な講義であり、現代日本政治とそれをとりまく国際環境についての基礎知識と政治学の基本的な発想を学ぶことができる。
- ③ 「専門Ⅰ」 — 次に二年次においては、こうして習得した基礎的な知識や考え方を、更に理論的に深化・発展させていく作業を行う。具体的には、現代政治を実証的に分析する「現代政治分析Ⅰ」、政治を理論的に考察する「政治学」、第一次大戦期から現代までの国際社会を考察する「国際政治論」などの講義を通じて政治学的な専門的知識と思考方法とを学ぶ。
- ④ 「専門Ⅱ」 — 三・四年次には、各自の問題関心に応じて、更に専門的な科目へと進むことになる。具体的には、政策決定過程と国家とを考察する「現代政治分析Ⅱ」、自由や「正義」といった「概念」の歴史的意味を学ぶ「西洋政治思想史」・「西洋政治思想史特殊講義」、政治現象を社会学的な方法によって解読する「政治社会学」、比較政治学的視点から各国の政治制度や政治問題を考察する「比較政治Ⅰ」と「比較政治Ⅱ」、行政と官僚制について考察する「行政学」・「行政学特殊講義」、グローバル化された国際環境の中での民族問題を考察する「国際政治論特殊講義」などの講義を通じて政治学的な専門的知識と思考方法とを学ぶ。尚、各科目の概要や取り組み方についてはシラバスに掲載されているので、それを熟読の上、授業に臨んでもらいたい。